

この度、「全史料協の活動の紹介」と「入会の促進」を目的としてリーフレットを作成しました。本会のあゆみと主な活動を紹介しています。

今年度は市町村へのアンケート及び全国図書館大会等の研究会で配布しました。ご利用の際は事務局までご連絡下さい。

全史料協のリーフレットを作りました！



記録遺産を守るために

全史料協とは

全史料協は「全国歴史資料保存利用機関連絡協議会」の略称で、発足は1976年(昭和51)です。1988年(昭和63)の公文書法施行を契機に、進められていたわが国の文書館運動が本格的に進展をはじめました。全史料協は、この文書館運動の中心に位置する全国団体です。当会は、文書記録を中心とする記録史料を保存し、利用に供している機関を主とし、そこに置く個人会員、およびこの会の目的に賛同して入会した単会員で構成されています。

通じて記録史料の保存利用活動の振興に寄与することを目的としています。機関会員には、文書館、公文書館、図書館、博物館、歴史資料館、自治体史編さん室、および大学資料室などが加盟しています。個人会員は、史料を保存し、利用に供する仕事に携わる方々です。全史料協は、文書館関係機関の世界的団体である国際文書館評議会(ICA)およびその東アジア地域支部(EASTICA)に加盟し、国際交流にも努めています。

大会・研修
毎年1回、全国大会(総会・研究会・研修会)を開催します。

調査・研究
会員の資質・知識・技術の向上のため、研究会などを開催します。

広報・広聴
「会報」(年3回)、会誌「記録と史料」(年1回)をはじめ、単行本では『日本の文書館運動〜全史料協の20年〜』『日本のアーカイブス論』ほか、数々の文書館に関する文献を出版、監修しています。

地域部会
関東と近畿には地域部会があり、定例研究会などを開催しています。

国際交流
国際文書館評議会(ICA)とその東アジア地域支部(EASTICA)に日本のアーカイブス団体の代表として加盟しています。ICAを通じて、国際会議などへの参加や諸外国の文書館専門家の招聘を行います。

その他
各種資料保存団体や、歴史学学会などの交流の機会を随時設定します。

全史料協ホームページ <http://www.jsai.jp>

—あなたも全史料協の会員になりませんか—

(表)

- 全史料協のあゆみ**
- 1976.2 ■ 全史料協(前身)全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)結成(代表:山口県立文書館)発足。事務局長:56名
 - 1976.6 ■ 「資料・書行」(年4回発行)
 - 1984.5 ■ 河東部会発足。以後、定例研究会と会報「アーカイブス」(年1回発行)
 - 1984.10 ■ 第1回研究会で文書館・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 1985.7 ■ 第1回大会で「文書館法制定後の文書館の内部動向と外部環境」をテーマに討論
 - 1986.5 ■ 関東部会発足。近畿・近畿支部、カネフラーニ
 - 1986.9 ■ 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 1987.12 ■ 全史料協評議会(略称「全史料協」)
 - 1988.6 ■ 全史料協(前身)全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 1990.10 ■ 会誌「記録と史料」(年1回発行)
 - 1992.10 ■ 第一回「記録と史料」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 1993.5 ■ 近畿部会発足。以後、各分支部の定例研究会、ネットワーク構築等
 - 1993.7 ■ 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 1994.10 ■ 第2回大会(東京)開催。記念式典、講演会等
 - 1995.12 ■ 第二次専門懇話会(学芸員)開催(アーカイブス制度への取り組み)
 - 1996.3 ■ 第1回「記録と史料」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 1997.10 ■ 「情報化時代の記録と史料」に関する研究会(学芸員)開催
 - 1999.5 ■ 会報「記録と史料」(年1回発行)
 - 2001.11 ■ 第3回「記録と史料」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 2003.5 ■ 第4回「記録と史料」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 2004.7 ■ 「歴史資料としての公文書」に関する研究会(学芸員)開催
 - 2004.8 ■ 第5回「記録と史料」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 2005.3 ■ 全史料協の発展を「記録と史料」アーカイブスに関する研究会(学芸員)を開催(学芸員)開催
 - 2006.1 ■ 第6回「記録と史料」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 2007.11 ■ 「記録と史料」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 2008.5 ■ 「文書館の発展を促す」をテーマに「記録と史料」について、山形県立文書館(山形)を会場に開催
 - 2008.8 ■ 公文書管理のあり方等に関する研究会(学芸員)開催(学芸員)開催
 - 2008.11 ■ 「記録と史料」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 2009.6 ■ 「記録と史料」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)
 - 2009.9 ■ 第7回「記録と史料」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称「全史料協」)

文書館・公文書館などの歴史資料保存機関及びそれらの機関に勤務している人、勤務していない人は、どなたでも会員になれます。

- 会員には「会報」(年3回)と、機関誌「記録と史料」(年1回)が配布されます。
- 年会費は機関会員31,000円〜40,000円、個人会員6,000円です。また、文書館などの勤務経験がなくとも入会できる準会員の制度もあります(年会費4,000円)。
- 地域部会として関東部会と近畿部会があります。年会費は機関会員10,000円、個人会員2,000円となっています。各地域部会では、それぞれその地域独自の定例研究会等が開催され、会員には地域部会報が配布されます。ただし、地域部会員は全史料協会員であることが入会条件です。
- 入会のお申し込みとお問い合わせは下記事務局まで、ご連絡ください。なお入会申請は、全史料協ホームページ(<http://www.jsai.jp>)よりダウンロードできます。



The Japan Society of Archives Institutions

全史料協事務局
〒371-0801 群馬市文京町三丁目27-26
群馬県公文書館内
TEL:027-221-2346 FAX:027-221-1628
E-mail:jsai-kaigyocor@archives.pref.gunma.jp

関東部会事務局
〒387-0007 千叶市中央区学芸道260-6 科学の歴史空間内
長野館立歴史館内
TEL:026-274-2000 FAX:026-274-3996

近畿部会事務局
〒630-8135 奈良市大宮西丁目1000番地
奈良国立歴史民俗博物館内
TEL:0742-34-2111 FAX:0742-34-2777

(裏)